# ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。

https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（NO.）などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

| お買い上げ日　　年　　月　　日 | 製造番号（NO.） |
|---|---|
| 販売店（TEL） | |

## お客様相談センター

●フリーダイヤル（9：00～18：00）

**0120-20-8822** ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。


工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟 18 階）

電動工具ホームページ――https://www.hikoki-powertools.jp



部品コード　C99750901　406 G

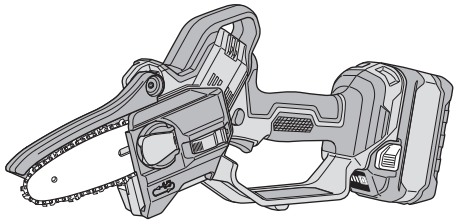

HiKOKI

# 取扱説明書

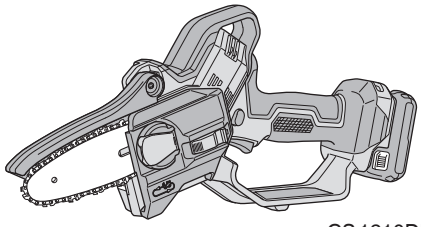
# コードレスミニチェンソー

18 V 100 mm **CS 1810DD**　10.8 V 100 mm **CS 1210DD**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



CS 1810DD



CS 1210DD

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.


はじめに

警告表示について…… 1
コードレス工具の安全上のご注意… 2
本製品の使用上のご注意…… 5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…… 9
各部の名称…… 11
仕様…… 12
標準付属品…… 13
用途…… 14
別売部品…… 14

使い方

スイッチの操作について…… 15
蓄電池の取付け・取りはずし…… 15
電池残量表示について…… 16
1 充電当たりの作業量について… 16
ソーチェンの交換…… 17
ご使用前の点検と準備…… 20
キックバックについて…… 22
木材を切断する…… 23
切断作業上のご注意…… 24
ソーチェンの目立て…… 25
ポールアタッチメントについて… 27

その他

保守・点検…… 32
保管方法…… 36
故障診断…… 37
ご修理のときは……裏表紙

# 警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

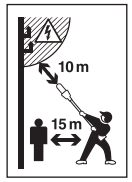
取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。

片手で使用しないでください。

雨の中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。

両手で機体をしっかりと握って使用してください。

保護帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、防護ズボン、安全靴など防護具を着用してください。




（ポールアタッチメント）

15ｍ以内に、人や動物を近づけないでください。誰かが近づいてきたら直ちに運転を停止してください。
作業する周辺 10ｍ以内に電線や通信線がないことを確認してください。

（ポールアタッチメント）

キックバックに注意してください。ガイドバー先端での作業はしないでください。

## ⚠危険、⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠危険**：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負うことが想定される内容のご注意。**

**⚠警告**：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

**⚠注意**：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

**注**：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



# コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠警告

**① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

**② 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙･発火･破裂などの恐れがあります。

**③ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。

**④ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
- 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

**⑤ 保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

**⑥ 加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

**⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

**⑧ 不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

## ⚠警告

⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

## ⚠注意

① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② **子供を近づけないでください。**
- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所 ( 金属の箱や夏の車内など ) に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。



## ⚠注意

⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⑫ **アスベスト ( 石綿 ) 周辺の環境下 ( 除去作業を含む ) で使用しないでください。**
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- アスベスト ( 石綿 ) 周辺の環境下 ( 除去作業を含む ) で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

# 本製品の使用上のご注意

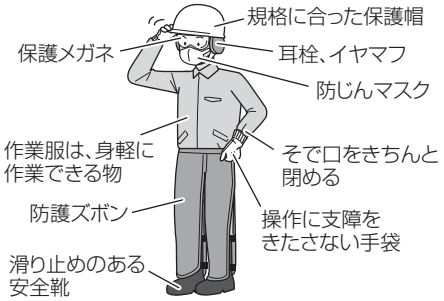
先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスミニチェンソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠危険

**はしごや木の上、屋根の上などの作業、片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェンソー操作は行わないでください。**

## ⚠警告

**① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。**
保護具を着用しないで作業すると、飛散物が体に当たるなどけがの原因になります。




**② 作業はゆとりを持って行ってください。また、体を冷やさないようにしてください。**

**③ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には工具を使用させたり、貸さないでください。**
はじめて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

**④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。また、機体各部のねじ、固定部がゆるんでいないことを確認してください。**

**⑤ 夜間や天候不良などの視界が悪いときや、急傾斜地では使用しないでください。**
足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

**⑥ 始動前にガイドバー・ソーチェン・チェンガードを点検してください。**
- ヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 確実に取付けられているか確認してください。割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。
- チェンガードは上にあげた後に、確実にソーチェンの上部をおおう元の位置に戻ることを確認してください。

**⑦ 作業前にロックオフボタンを押しながらでないと、スイッチが引けないことを確認してください。**
故障しているときは使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



## ⚠警告

**⑧ ソーチェンは、取扱説明書に従って正しく取付けてください。**
誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンがはずれ、けがの原因になります。

**⑨ チェンソーに装備されている安全装置（チェンガード、ロックオフボタンなど）は取りはずさないでください。また、改造したり、固定しないでください。**

**⑩ スイッチを入れるときには注意してください。**
- 15 m 以内に人や動物を近づけないでください。
- ソーチェンが地面、または障害物に接触していないことを確認してください。
不意な始動は、けがの原因になります。

**⑪ キックバック防止のため、ガイドバー先端部（特にガイドバーの上部 1/4 の部分）での作業は行わないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。**

**⑫ 使用中、ハンドルとハウジングの上部を両手でしっかりと保持し、両足を開き安定した姿勢で作業してください。また、足場の悪い場所で作業するときは、周囲を整備し足場を確保してください。**

**⑬ 使用中は、ソーチェンやガイドバーに手や顔などを近づけないでください。**

**⑭ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。**

**⑮ 作業をする周辺 10 m 以内に電線がないことを確認してください。**
電線などがあると機体が触れ、感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。

**⑯ 作業は原則として一人で行い、複数で作業するときは十分な間隔を取ってください。**
**特に、斜面での作業では、木の倒れ、転がり、滑りを予測し、他の作業者に危険がないことを確認してください。**

**⑰ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。**
- 飛散物や落下物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

**⑱ 曲げられている枝、かかり木、裂けている木などは切断終了時の跳ね返りに注意してください。**
できるかぎり十分な訓練と経験を積んだ専業者に依頼してください。

**⑲ 誤って落としたり、衝撃が加わったり、破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。**

**⑳ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。**

## ⚠警告

㉑ **次の場合はスイッチを切り、ソーチェンが動いていないことを確認し、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
- 使用しない、または保守する場合。
- 作業場所を移動する場合。
- ソーチェンやガイドバー、チェンケース、その他機体の準備・点検・調整・交換などを行う場合。
- チェンオイルを補充する場合。
- 機体に巻き付いたごみを取り除く場合。
- 作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したごみ、切りくずなどを運ぶ場合。
- 機体を体からはずす場合(ポールアタッチメント使用時)、機体からはなれる場合。
- その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。

㉒ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**

㉓ **工具本体の端子部(蓄電池取付部)に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

短絡(ショート)して、発煙・発火などの恐れがあります。

㉔ **工具本体の端子部(蓄電池取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
短絡(ショート)して、発煙・発火の恐れがあります。

㉕ **〔事業者の方へ〕**
**伐倒した樹木の切断、または造材の業務は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。**
**詳しくは、各都道府県の林業・木材製造業労働災害防止協会等にお問い合わせください。**

| | | |
|---|---|---|
| 関連法令 | 労働安全衛生法 | 第59条 |
| | 労働安全衛生規則 | 第36条第8号 |
| | 安全衛生特別教育規程 | 第10条 |

## ⚠注意

① **付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

② **使用しないときは、ガイドバーにチェンケースを被せ、ソーチェンがむき出しにならないように保管してください。**

③ **使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、ソーチェンをはずすか、チェンケースを被せてください。**

④ **チェンケースを付けたまま、スイッチを入れないでください。**

⑤ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**

⑥ **切り落とし寸前や切断中に材料の重みで、ガイドバーが材料に挟み込まれないようにしてください。**

⑦ **警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しいラベルと取り替えてください。**
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。

⑧ **作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。**

⑨ **蓄電池は確実に取付けてください。**

## ⚠警告マークについて

**このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り(OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、ソーチェンの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

**① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

**② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。**

**③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。**

**④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。**

**⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。**

**⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。**

**⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。**

**⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。**



## ⚠警告

**⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。**
ケースの破損や劣化の原因になります。

## ⚠注意

**① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。**
放置すると液により目に障害を与える原因になります。

**② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

**③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。**

**④ 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。**

**⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

## 蓄電池はリサイクルへ

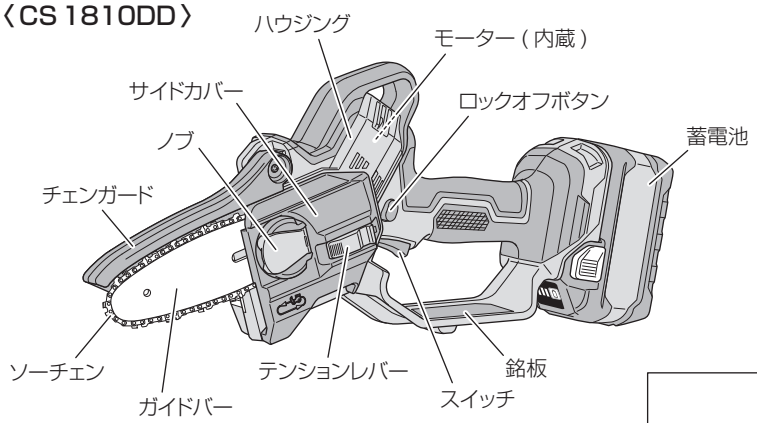
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

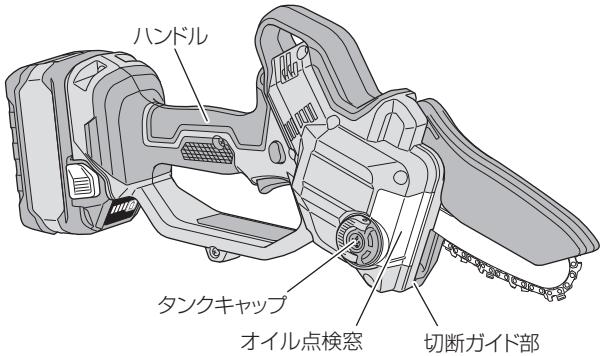
**○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください**
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

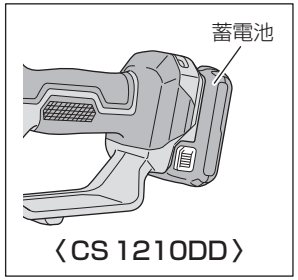
# 各部の名称

## 工具本体

〈CS 1810DD〉



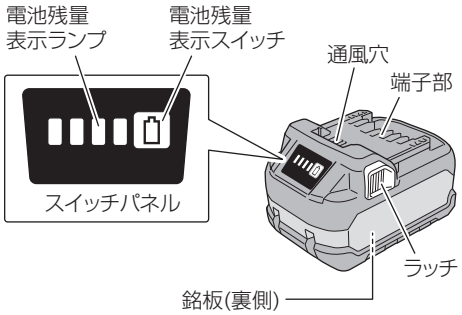



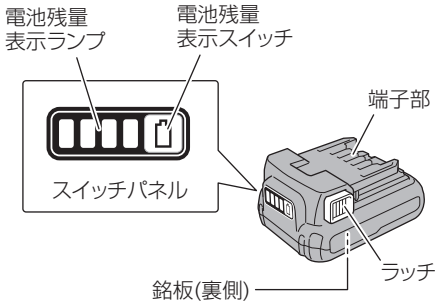

〈CS 1210DD〉

## 蓄電池

〈BSL 36A18X〉




〈BSL 1220M〉






# 仕　様

### 1. 工具本体

| 形　　名 | CS 1810DD | CS 1210DD |
|---|---|---|
| モ　ー　タ　ー | 直流ブラシレスモーター | |
| ソ　ー　チ　ェ　ン | 形式：SC11－34〔ピッチ 6.35 mm（1/4 インチ）〕 | |
| ガ　イ　ド　バ　ー | 長さ：100 mm　ゲージ：1.1 mm（0.043 インチ） | |
| 無負荷チェンスピード | 8.0 m/s（480 m/分） | |
| チェンオイル給油方式 | 自動給油 | |
| 使用チェンオイル | 弊社チェンソー用オイル　または　市販のチェンオイル | |
| 寸　　法<br>（全長×全幅×全高） | 441 × 89 × 228 mm<br>［BSL 36A18X 装着時］ | 416 × 86 × 206 mm<br>［BSL 1220M 装着時］ |
| 質　　量 | 1.9 kg<br>［BSL 36A18X 装着時］ | 1.4 kg<br>［BSL 1220M 装着時］ |
| 電　池　電　圧 | 18 V | 10.8 V |
| 使用可能蓄電池 | リチウムイオン電池<br>•マルチボルトタイプ蓄電池<br>•18 V（BSL18＊＊シリーズ） | スライド式リチウムイオン電池<br>10.8 V（BSL 12＊＊シリーズ） |
| オイルタンク容量 | 55 mL | |
| 振動３軸合成値※1 | 2.5 m/s² ※2 | |

※1：振動３軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の３軸合成値）については、JEMA［一般社団法人日本電機工業会］
ウェブサイト：https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
を参照してください。

※2：振動３軸合成値は、EN62841-4-1 規格に基づき測定しています。

### 2. 蓄電池

| 形　　名 | BSL 36A18X | BSL 1220M |
|---|---|---|
| 種　　類 | スライド式円筒密閉形リチウムイオン電池 | |
| 電　池　電　圧 | 36 V/18 V※1 | 10.8 V |
| 容　　量 | 2.5 Ah/5.0 Ah※1 | 2.0 Ah |
| 使用可能<br>コードレス製品 | 18 V品：使用可※2<br>36 V品：マルチボルトタイプ<br>蓄電池対応製品 | 10.8 V品：スライド式<br>リチウムイオン<br>電池対応製品 |
| 使用可能充電器 | スライド式リチウムイオン<br>電池対応充電器<br>UC 36＊＊＊、UC 18＊＊＊シリーズ | UC 12SL<br>UC 18YTSL(S)<br>UC 18YDML |
| 残量表示ランプ | 緑色 LED | |

※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：ご使用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

# 標準付属品

| 品名 ＼ 形名 仕様 | CS 1810DD | | CS 1210DD | |
|---|---|---|---|---|
| | XPZ | NN | BS | NN |
| チェンケース〔本体装着〕 | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| ガイドバー〔本体装着〕 | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| ソーチェン SC11−34(1/4 インチ)〔本体装着〕 | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| チェンオイル(50 mL) | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| 充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。 | 1 台 | − | 1 台 | − |
| 蓄電池 BSL 36A18X | 1 個 | − | − | − |
| 電池カバー | 1 個 | − | − | − |
| 蓄電池 BSL 1220M | − | − | 1 個 | − |
| 電池カバー | − | − | 1 個 | − |

# 用　途

●木材の切断
●庭木の枝打ち

# 別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

| チェンソー用オイル(1 L) | ソーチェン SC11−34(1/4 インチ) | ホルスター |
|---|---|---|
| ポールアタッチメント〔肩掛けバンド付属〕 CS18−AD:CS1810DD 用 CS12−AD:CS1210DD 用 | | |

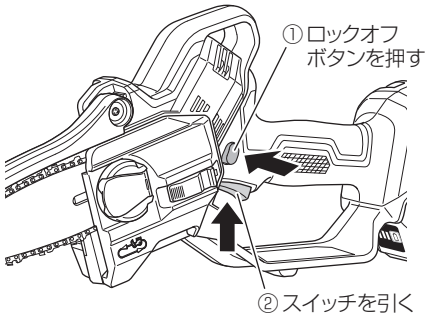
# スイッチの操作について

## ⚠警告

**ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。**
誤ってスイッチを引いたとき、不意に動き出します。

ロックオフボタンを押しながらスイッチを引くと、ソーチェンが回転します。
ロックオフボタンを押さないと、スイッチは引けません。

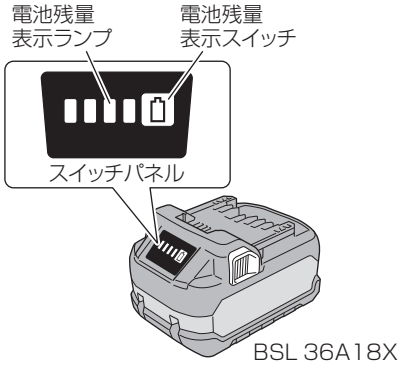
スイッチが入った後は、ロックオフボタンをはなしても、スイッチを引いている間ソーチェンは回転を続けます。




# 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。




注 **残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。**

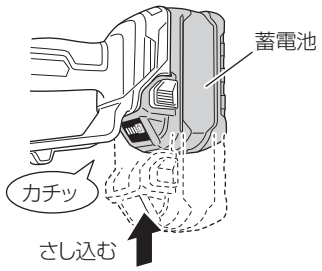
| ランプの点灯状態 | | 電 池 残 量 |
|---|---|---|
| | 点灯 | 75% 以上 |
| | | 50% ～ 75% 未満 |
| | | 25% ～ 50% 未満 |
| | | 25% 未満 |
| | 点滅 | 0% |
| | | 高温のため出力停止※1 |
| | | 故障のため出力停止※2 |

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。
※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

# 蓄電池の取付け・取りはずし

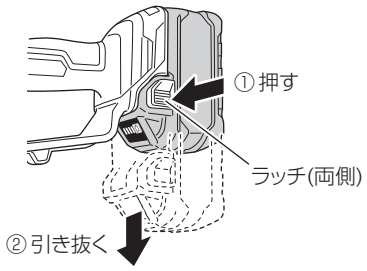
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。




取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。




# 1 充電当たりの作業量について

作業量は、使用環境、蓄電池の状態、材料のバラつきなどにより異なります。

| 作業内容 ＼ 形名 / 蓄電池 | CS 1810DD | CS 1210DD |
|---|---|---|
| | BSL 36A18X | BSL 1220M |
| 角材（杉） 50 × 50mm | 約 380 カット | 約 88 カット |

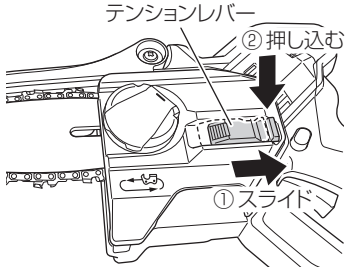
# ソーチェンの交換

この作業時は必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を取りはずしてください。

注
- **ソーチェンの取りはずしの際は、オイル吐出口、オイル穴、ガイドバー溝、およびその周辺の切りくずを取り除いてください。**
  切りくずなどがたまっていると、故障の原因になります。
- **ソーチェンは、仕様に明記してある物を使用してください。**
  異なるソーチェンを取付けると、ガイドバーからはずれる恐れがあります。

## 1 テンションレバーをロックする

①の方向にスライドさせた後、②の方向に押し込むと、テンションレバーがロックされます。

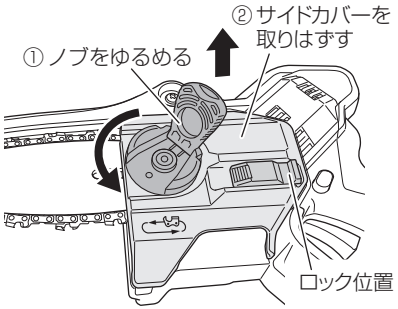



## ⚠注意

厚手の手袋を着用し、ソーチェンでけがをしないよう注意してください。

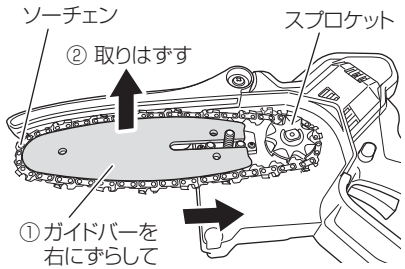
## 2 サイドカバーを取りはずす

テンションレバーをロックしたままノブを反時計方向に回してゆるめ、サイドカバーを取りはずします。




## 3 ソーチェン、ガイドバーを取りはずす

ガイドバーを右にずらして、ソーチェンをゆるめます。ガイドバーとソーチェンを一緒に取りはずします。

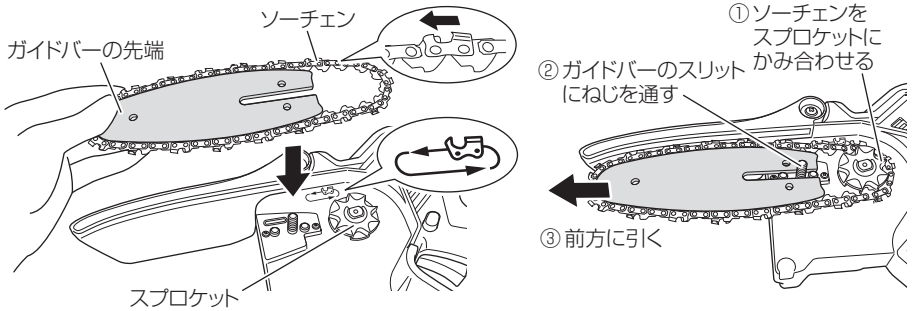



## 4 新しいソーチェンをスプロケットにかみ合わせる

ガイドバーの先端から溝にソーチェンをはめ込みます。ソーチェンの向きは、スプロケットの上にあるイラストの向きに合わせてください。

ソーチェンがガイドバーからはずれないように先端を押さえながら、ソーチェンをスプロケットにかみ合わせ、ガイドバーを取付けます。

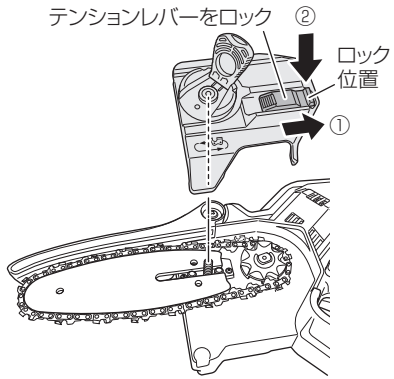
ガイドバーを前方に引いて、ソーチェンのゆるみを解消します。



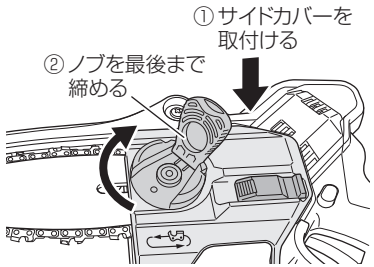

注 **サイドカバー周辺の汚れを落としてから取付けてください。**
（P.34「各部の掃除」参照）

## 5 サイドカバーを取付ける

(1) テンションレバーをロックします。




(2) ソーチェンがガイドバーからはずれないようにしながらサイドカバーを本体に取付け、ノブを時計方向に回し、しっかり締付けてください。

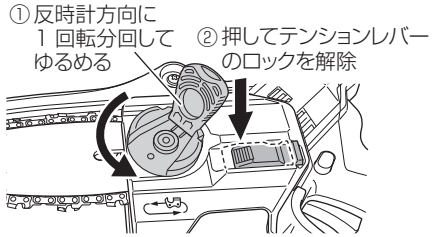



次ページ ⑤ へつづく ⇒

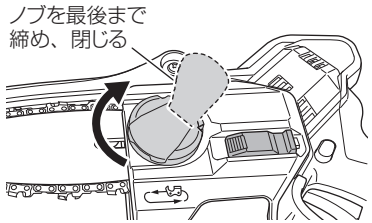
## 5 サイドカバーを取付ける

(3) ノブを最後まで締めたら、反時計方向に1回転分回してゆるめます。

(4) テンションレバーのロックを、②の方向に押して解除します。
テンションレバーのロックを解除するとガイドバーが前に押し出され、ソーチェンにテンションがかかります。




(5) ノブを時計方向に回し、しっかり締付けてから閉じます。




### ⚠警告

- ノブがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ソーチェンがガイドバーの溝に正しくセットされていることを確認してください。

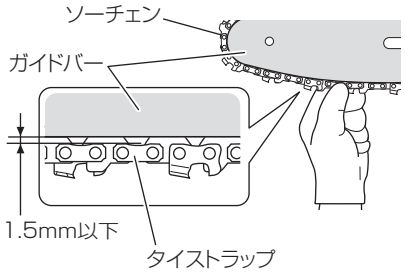
### ⚠警告

ノブがしっかりと締まっていることを確認してください。

注 ソーチェンの交換時に、スプロケットの摩耗状態を確認してください。
(P.33「スプロケットの点検と交換」参照)

## 6 ソーチェンの張りを確認する

ソーチェンの張りは、ガイドバーの中央付近でソーチェンを軽く引き、ソーチェンのタイストラップとガイドバーのすき間が1.5 mm以下であることを確認します。






# ご使用前の点検と準備

### ⚠警告

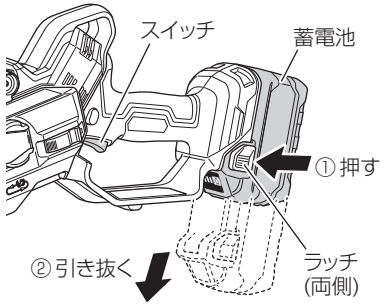
**ソーチェンが適切な張り具合かを確認し、使用してください。**
ソーチェンやガイドバーの故障や破損または、はずれてけがの原因になります。

作業場所および周辺の環境をよく観察し、けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にないか確認し、ある場合には、あらかじめ取り除いてください。

作業時足場となる部分については、不安定であったり、つまずいて転んだりする物がないように整備してください。

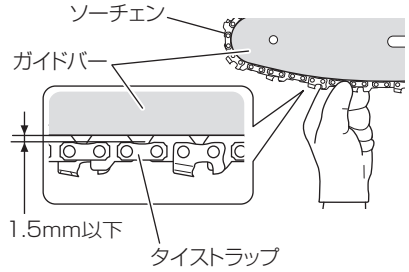
## 1 蓄電池を工具本体から取りはずし、スイッチが切れていることを確認する

(P.15「スイッチの操作について」参照)



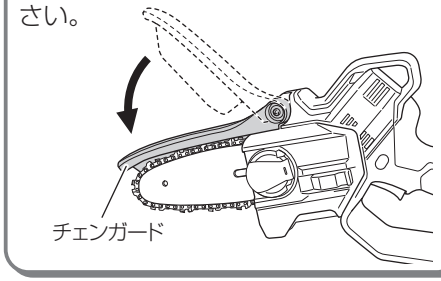

## 2 ソーチェンの張り具合を確認する

- P.19「ソーチェンの交換」❻を参照し、適切に張られていることを確認してください。
- ソーチェンが新しい間は、特に伸びやすいので、時々張り具合を点検してください。
伸びた場合は、P.19❺-(3)から❻の手順で張り直してください。
- ノブの締付けも点検してください。




## 3 チェンガードの作動を確認する

チェンガードは、ソーチェンから作業者を守るための安全装置です。
正しい位置に戻ることを確認してください。




注 チェンガードが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

次ページ❹へつづく ⇒

注 • **オイルタンクの容量は、約 55 mL です。**
チェンオイルがあふれたり、オイルタンク周辺にこぼれたりしないよう、給油してください。

• **チェンオイルは、余分に買い置きしておくことをお勧めします。**
チェンオイルがない状態で作業を続けると、ソーチェンの焼き付きや、モーター故障の原因になります。

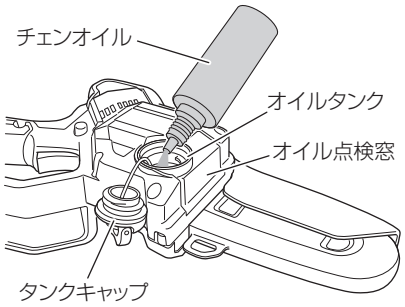
• **オイルタンクにごみなどが入らないようにしてください。**
ごみなどの異物が入ると、故障の原因になります。

• **本機は構造上、タンクに残ったチェンオイルが漏れることがあります。故障ではありませんが、保管場所が汚れることがあります。**
保管するときは、オイルタンク内のオイルを抜いて空にし、機体の下にはオイルがついても良い物を敷いてください。

• **オイル補充は、稼働時間 15 分を目安に行ってください。**
**(※使用条件により異なります。)**

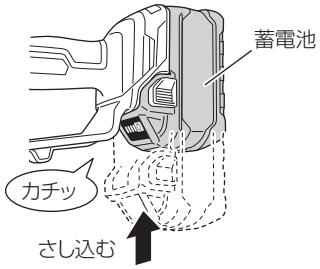
## 4 チェンオイルを確認する

• 本機はチェンオイルを入れないで出荷しています。使用前に必ず、オイルタンクに付属のチェンオイルを入れてください。
• 作業中もオイル点検窓から時々確認して、少なくなったら補充してください。
• 付属のチェンオイルがなくなりましたら、別売部品の弊社チェンソー用オイル、または市販のチェンオイルを使用してください。
• チェンオイルは自動給油です。
吐出量の調整機能は付いていません。



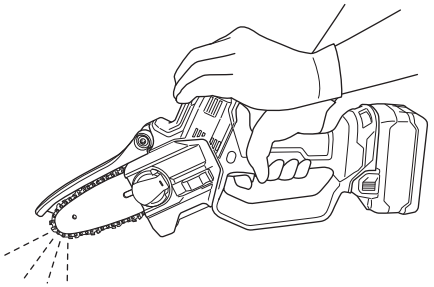

## 5 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



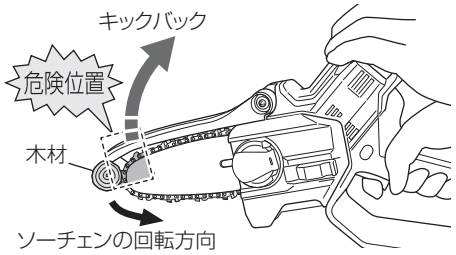

## 6 チェンオイルの吐出を確認する

• スイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的にチェンオイルが給油されます。
• 2～3 分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口周りに切りくずがたまっていないか確認してください。
(P.34「チェンオイル吐出口・ガイドバー・スプロケット」参照)

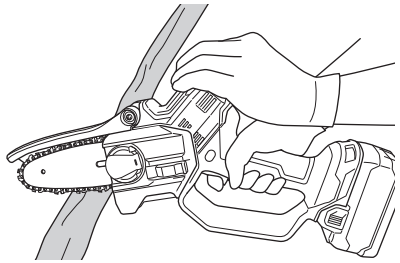


# キックバックについて

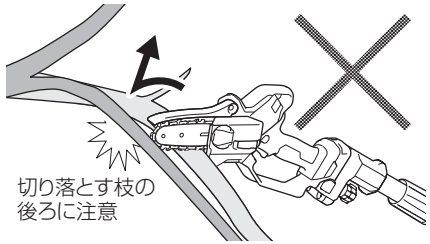
ガイドバー先端部の上半分が木材に触れると、ソーチェンの回転でガイドバー先端部が木材を駆け上がる力が働き、作業者の上半身に向かって跳ね返すキックバックが発生します。




使用中、ハンドルとハウジングの上部を両手でしっかりと保持し、両足を開き安定した姿勢で作業してください。また、足場の悪い場所で作業するときは、周囲を整備し足場を確保してください。



ガイドバーの先端が、切り落とす枝の後ろにある枝などにぶつかってキックバックを起こすことがあります。
後ろ側にそのような物がないかよく確認してから作業をしてください。



# 木材を切断する

●木材の切断　●庭木の枝打ち

## ⚠警告

**使用中は、両手でしっかりとハンドル・ハウジング上部を保持してください。**

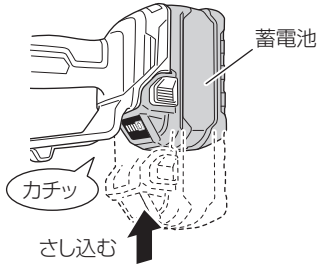
切断時機体を無理に押し付けても早く切れません。モーターに無理をかけ、能力も悪くなるばかりか、モーターやソーチェン、ガイドバーを傷め故障の原因になります。ソーチェンの速度が落ちない範囲で使用してください。
特に、ソーチェンが止まる(ロックする)ような使い方は、けがや故障の原因になります。

### 1 スイッチが切れていることを確認する

スイッチが入っているのを知らずに蓄電池をさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

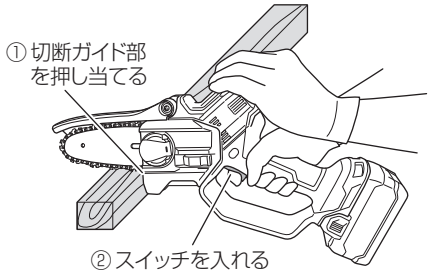
### 2 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。




### 3 スイッチを入れ、切断する

切断ガイド部を材料に押し当て、ソーチェンが木材に触れない状態でスイッチを入れます。
ソーチェンのスピードが一定に上がったら切断を始めます。




チェンオイルの量や、ソーチェンの張り具合を時々確認してください。
(P.18、19「ソーチェンの交換」❺·❻、P.21「ご使用前の点検と準備」❹参照)

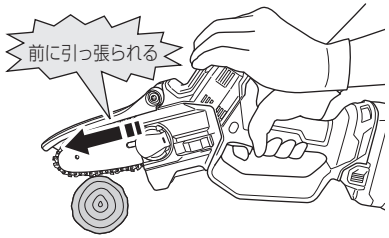
注 **オイルタンクが空にならないよう、早目にチェンオイルを補給してください。**

**長い枝**

根本から一気に切断せず、先端から適正な長さに分けて切断してください。
短く切断することで、切断時の落下位置が把握しやすくなり、切断後の処理も楽になります。

## ⚠注意

- **スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他の物に当たっていないことを確認してください。**
- **使用中、ソーチェンが別の材料や他の物に触れないようにしてください。また、切り終わりのとき、地面に接触しないようにしてください。**
- **作業中、切断部の真下には立たないでください。**
- **切断ガイド部を木材に当てないで切断しようとすると、機体が前に引っ張られ、体からはなれてしまいます。一瞬で不安定な姿勢になり、事故の原因になる可能性があります。**
  切断ガイドを木材に当てて切断してください。
  また、機体は両手でしっかりと保持してください。




# 切断作業上のご注意

## ●高負荷作業や連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。
高負荷切断や連続切断を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。
その際は機体を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にチェンソー本体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

## ●機体の保持と押し付け力について

機体は両手でしっかりと保持してください。また、必要以上に押し付けないでください。モーターに無理をかけ、能力が低くなるばかりか、モーターやガイドバーを傷め故障の原因になります。
特に、ソーチェンが止まる(ロックする)ような使い方は、けがや故障の原因になります。

# ソーチェンの目立て

**この作業時は必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を取りはずしてください。**

ソーチェンの切れ味が悪くなると、モーターや機体の各部に無理をかけ、能率も悪くなります。

本機の能力を発揮するためには、ソーチェンをまめに手入れし、切れ味の良い状態にしておくことが必要です。

**⚠警告**

**ソーチェンを取扱うときは、厚手の手袋を着用してください。**

注 **目立ておよびデプスゲージの調整は、ソーチェンを機体に取付けたまま、ガイドバーの中央部で行ってください。**

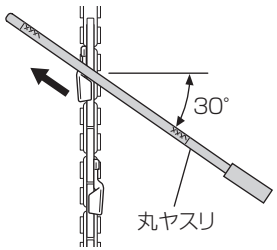
## ●目立て

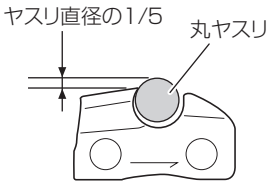
ソーチェンの目立ては丸ヤスリと平ヤスリを使用します。（市販品をお使いください。）
丸ヤスリはカッター部の研削に、平ヤスリはデプスゲージの研削に使用します。

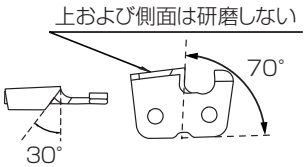
丸ヤスリは直径 3.2 mm を使用します。
カッター部の研削は丸ヤスリの直径の 1/5 を上部に出して行います。

上刃目立て角は 30° です。丸ヤスリのグリップ側を前方に軽く押し出すように研削します。
手前に戻すときは、丸ヤスリがソーチェンに触れないようにしてください。

左右のカッターが均等になるようにヤスリをかけてください。
すべてのソーチェンの角度がそろっていないと、曲がって切れることがありますので注意してください。



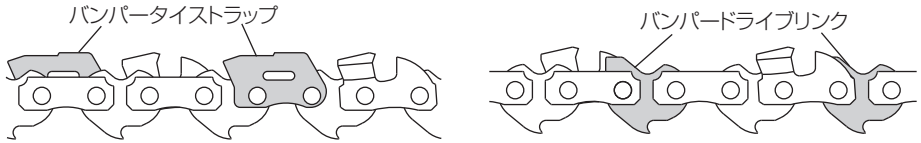




## ●デプスゲージの調整

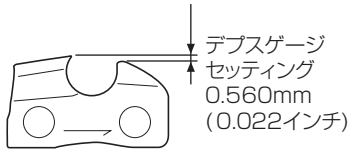
**⚠警告**

- **バンパータイストラップ、バンパードライブリンクの上部にヤスリをかけたり、変形させたりしないでください。**
- **デプスゲージの調整は、指定の寸法、形状にしてください。**
  キックバックの危険性を高め、けがの原因になります。

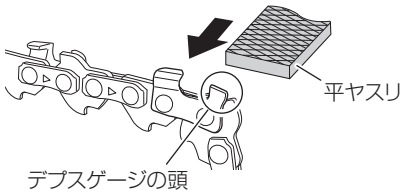



デプスゲージは、カッターが木材にくい込む深さを調整する役割をしますので、デプスゲージを全部一定にそろえることが大切です。

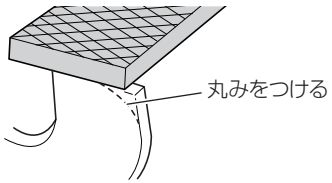
刃の目立て２～３回に１回は、必ずデプスゲージをチェックしてください。




指定のデプスゲージセッティングとなるよう、デプスゲージの頭を平ヤスリですり落としてください。




デプスゲージをすり落としたら、必ずデプスゲージの前側を元のように丸みをつけてください。




ソーチェンの目立てが終わったら、チェンオイルの中に浸してヤスリ粉を洗い落としてください。

ヤスリ粉が詰まったまま使用すると、ソーチェンやガイドバーが早く摩耗します。

# ポールアタッチメント【別売部品】について

先に、コードレスミニチェンソーについて(P.5「本製品の使用上のご注意」)をよくお読みのうえ、ポールアタッチメントについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠危険

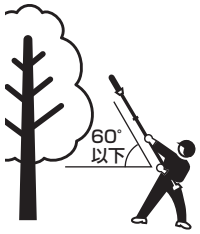
**作業する周辺 10 m以内に電線・通信線がないことを確認してください。**
機体が接触すると重大な傷害や死亡事故につながります。

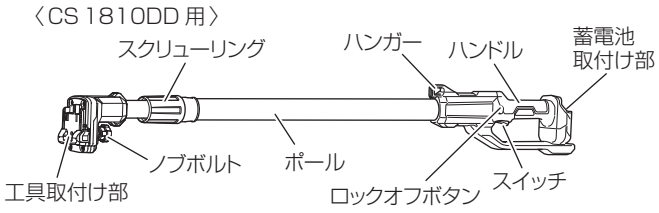
## ⚠警告

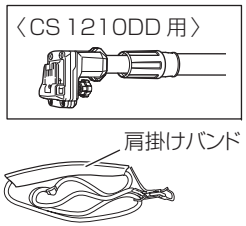
① **ポールアタッチメントを使用するときは、肩掛けバンドを着用してください。**
② **使用前に、スクリューリング・ノブボルトが、確実に締付けてあることを確認してください。**

## ⚠注意

**切断部の真下には立たないでください。ポールの角度を60°以下に保ってください。**
他の枝や地面に跳ね返って思わぬ方向に落ち、けがをする恐れがあります。



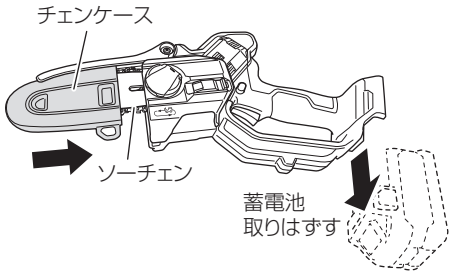

## ●ポールアタッチメントに取付ける

**この作業時は必ずスイッチを切り(OFF)、蓄電池を取りはずしてください。**

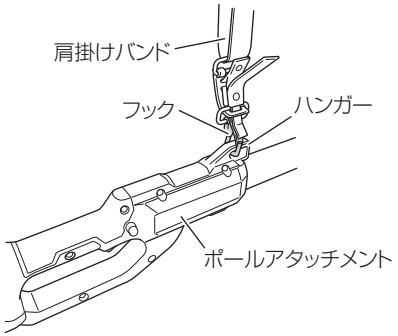
## ⚠警告

- **作業時は肩掛けバンドを着用し、機体を正しく保持してください。**
- **機体を立てた状態のままで、ポールの長さ調節を行わないでください。**
- **作業中はポールの長さ調節をしないでください。**

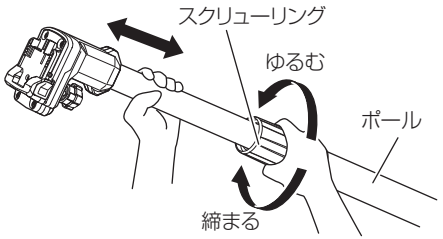
**1** チェンケースを取付け、蓄電池を取りはずします。




**2** 肩掛けバンドのフックを、ポールアタッチメントのハンガーに取付けて床に置きます。



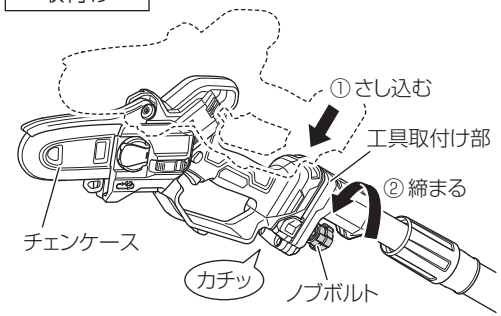

**3** スクリューリングをゆるめ、ポールの長さを調節してください。
伸ばしたポールは手をはなすと、元の方向に戻ります。
ポールを押さえながら、スクリューリングをしっかり締めて固定してください。



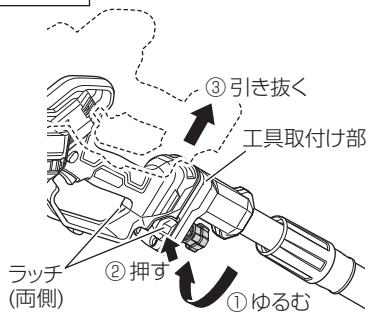

次ページ 4 へつづく ⇒

**4** ポールアタッチメントの工具取付け部に、ミニチェンソーを取付けます。
「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。その後、ノブボルトを締付けて固定します。
取りはずすときはノブボルトをゆるめて、工具取付け部のラッチ(2個)を押しながら、ミニチェンソーをスライドさせて取りはずしてください。

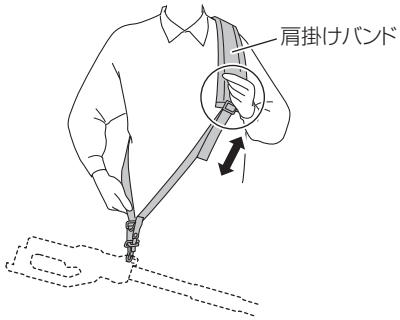
取付け




取りはずし




**5** 肩掛けバンドを装着し、作業しやすい長さに調節してください。

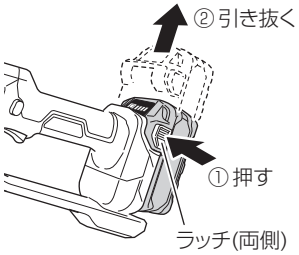



**6** 肩掛けバンドの、緊急離脱機能の確認をしてください。
(P.30「肩掛けバンドの緊急離脱」参照)

**7** ポールアタッチメントに蓄電池を取付けます。
ポールアタッチメントの蓄電池取付け口に、「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
取りはずすときは、両側のラッチを押しながらスライドさせて引き抜きます。

取付け

取りはずし






## ●肩掛けバンドの緊急離脱

### ⚠警告

- **作業時は肩掛けバンドを着用し、機体を正しく保持してください。**
- **危険を感じたときは直ちに運転を停止し、肩掛けバンドの離脱ベルトを引いて、機体を体からはなしてください。**

① 肩掛けバンドから機体をはずすときは片手で機体を持ちながら、離脱ベルトを下図のように上に引き、ブラケットからはずします。

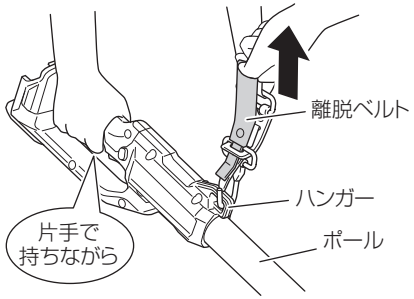
② 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。

③ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。

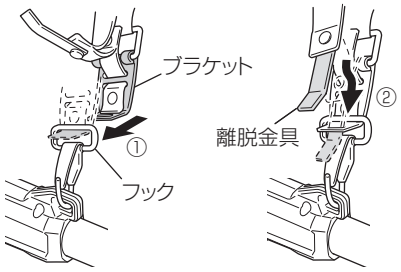
### ⚠注意

- **離脱時は片手で機体を持ちながら、離脱ベルトを引いてください。**
  機体を支えないで離脱ベルトを引くと、機体が足の上に落ち危険です。
- **肩掛けバンド装着前に、肩掛けバンドに切れ・ほつれ・損傷等がないことを確認し、正しく使用してください。**
- **肩掛けバンド装着前に、フックやハンガーに変形・損傷がないことを確認してください。**
  損傷がある場合は、新品と交換してください。
- **肩掛けバンド装着後に機体を押し下げ、フックが容易にはずれたり、肩掛けバンドがゆるんだりしないことを確認のうえ使用してください。**
- **作業前に離脱機能に異常がないことを確かめてください。**

離脱する




結合する



## ●ポールアタッチメントの使い方

基本的な使い方は、P.23「木材を切断する」を参照してください。
ポールアタッチメント使用時は以下の点に注意してください。

- **作業前に切断する枝が落ちる位置を予測し、切断部の真下に立たないでください。**
  落下する枝で、けがをする恐れがあります。
- **切断時のソーチェンのスピードが低下しないように、押し付け力を調整してください。**
  ポールアタッチメント使用時は、ミニチェンソー単体使用時に比べ押し付け力が大きくなります。
- **切断する枝の後ろ側にも注意してください**
  後ろにある枝により、キックバックが発生する恐れがあります。



# 保守・点検

**この作業時は必ずスイッチを切り(OFF)、蓄電池を取りはずしてください。**

### ⚠警告

**エアーガンなどを用いて掃除する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。**
排出された切りくずを吸い込んだり、目に入る可能性があります。

### ⚠注意

**手袋を着用し、ソーチェンでけがをしないよう注意してください。**

## ●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

## ●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.11「各部の名称」参照)に、油や水が浸入ないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。**
モーター部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●ソーチェンの点検

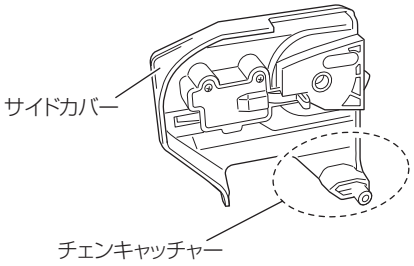
- ソーチェンを点検し異常がある場合は、P.17「ソーチェンの交換」に従い、新品と交換してください。
- ソーチェンの張りを点検し、正しく張られていない場合は、P.18 の ⑤ からの手順で調整してください。
- 切れ味が悪くなったらそのまま使用せず、新品に交換するか、P.25 の「ソーチェンの目立て」を参照し、目立てをしてください。
- 使用後はさび止めのため、ガイドバーとソーチェンに十分チェンオイルを回してください。

## ●チェンキャッチャーの点検

チェンキャッチャーはソーチェンがはずれたり、切れたりした場合、ソーチェンが作業者の体に当たることを極力防ぐための物です。

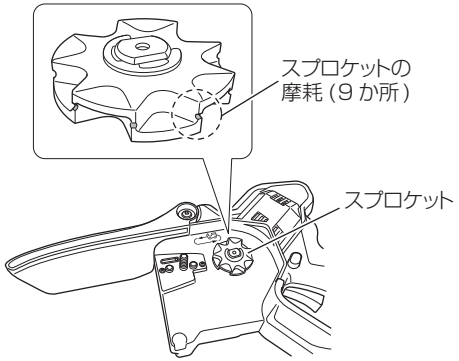
チェンキャッチャーは、サイドカバーと一体構造になっています。

チェンキャッチャーが破損していないか点検してください。



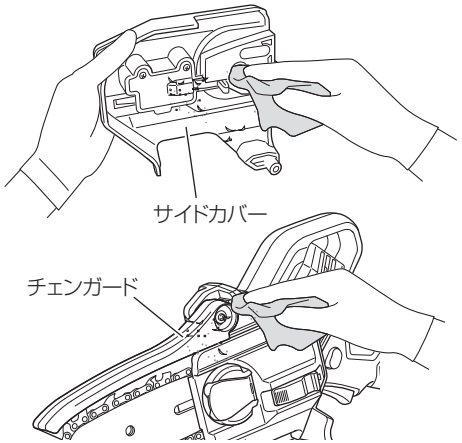

## ●スプロケットの点検と交換

スプロケットを点検してください。摩耗している場合、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。




## ●各部の掃除

**注 サイドカバー、スプロケット、チェンオイル吐出口、ガイドバーの掃除は、P.17「ソーチェンの交換」の手順に従い、ソーチェンとガイドバーを取りはずして行ってください。**



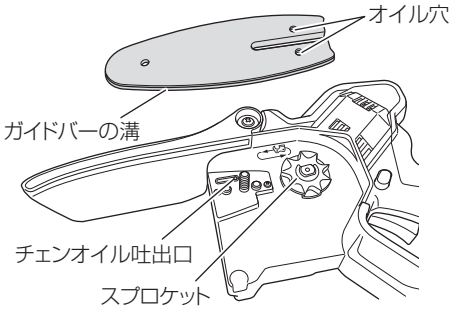

**サイドカバー・チェンガード**

中にたまった切りくずを除去してください。

**チェンオイル吐出口・
ガイドバー・スプロケット**

チェンオイル吐出口やガイドバーの溝、オイル穴、スプロケットの周りに切りくずなどが詰まると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。

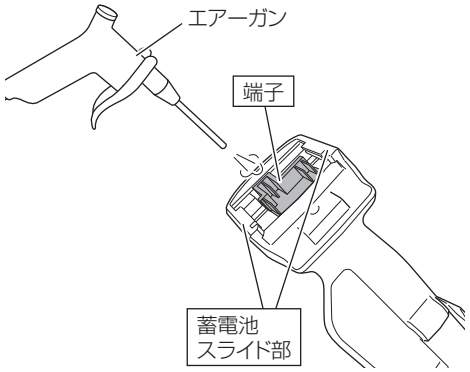
使用後およびソーチェンの交換時にも、各部の切りくずを取り除いてください。
（P.17「ソーチェンの交換」参照）

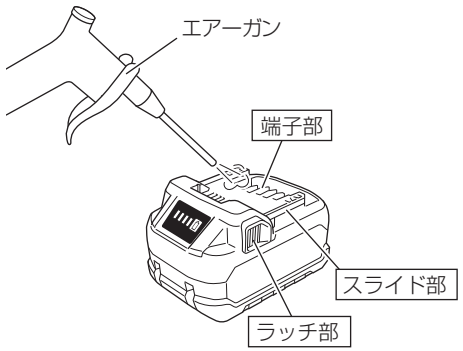


## ●蓄電池取付部・蓄電池の掃除について

使用後、下図の各部に切りくずが付着することがあります。
定期的にブラシやエアーガンなどで、切りくずを落とすように掃除してください。

注
- **掃除後、工具本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。**
- **切りくずが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。**
  **また、蓄電池と端子の接触不良や故障する原因になります。**



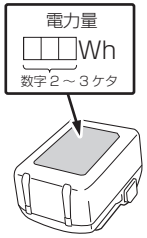

## ●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠警告

**輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。**

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

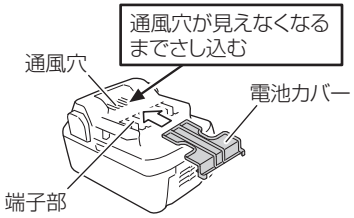



## ●リチウムイオン電池の保管について

### ⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- **収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。**
- **短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。**




注 **リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。**
蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

# 保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部にはさびないように防錆剤を薄く塗ってください。
- 保管するときは、チェンオイルを抜き取ってください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。
- チェンソーを移動、保管する場合は安全のため、必ず標準付属のチェンケースを取付けてください。

その他、下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- **お子様の手が届く場所、持ち出せる場所**
- **軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所**
- **温度が急変する場所、直射日光が当たる場所**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所**
- **本機は構造上、パイプやガイドバーに残留したチェンオイルがしみ出ることがあります。故障ではありませんが、保管場所が汚れることがありますので、注意してください。**
  保管するときは、オイルタンク内のオイルを抜いて空にし、機体の下にはオイルがついても良い物を敷いてください。
- **ポールアタッチメントは倒れる恐れがありますので、立てた状態で保管しないでください。**

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

| 状　況 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| ソーチェンが<br>・動かない<br>・動きが悪い | 電池残量がない | 蓄電池を充電してください。 |
| | 蓄電池のさし込みが確実でない | 蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。<br>また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。<br>さらに、蓄電池は「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。 |
| | ソーチェンの張りがきつい | 本体・スプロケット・ガイドバーの溝・サイドカバー内を掃除をし、ソーチェンを付け直してください。 |
| | | スプロケット・ガイドバーにソーチェンが正しく取付いているか、確認してください。 |
| | | 切りくずが詰まっているときは、各部の掃除をしてください。 |
| | ソーチェンがスプロケットからはずれている | スプロケットとガイドバーの溝にソーチェンが正しくセットされているか確認してください。 |
| | | スプロケットが摩耗していないか確認してください。 |
| | サイドカバー内に…<br>→切りくずが詰まっている<br>→異物が引っ掛かっている | サイドカバー内を清掃してください。 |
| | ガイドバーの溝に…<br>→切りくずが詰まっている<br>→油が回らない | ガイドバーの溝やオイル穴を清掃してください。<br>オイルタンクにオイルが入っているか確認して、なくなっていたら補充してください。 |
| 突然止まった | 過負荷になった | 大きな負荷を与えた原因を解消してください。 |
| | 蓄電池または工具本体が過熱状態になった | 蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。 |
| 切れ味が悪い | ソーチェンが…<br>→摩耗、刃こぼれしている<br>→さびている | ソーチェンを目立てしてください。<br>摩耗、刃こぼれがひどいときは、新しいソーチェンと交換してください。 |
| | ソーチェンの向きが逆になっている | 正しい向きに付け直してください。 |
| | ソーチェンの張りがゆるい | ソーチェンの張りを確認してください。正しく張られていてもゆるい場合、ソーチェンを新品に交換してください。 |
| | | スプロケットが摩耗していないか確認してください。 |
| チェンオイルが<br>・出が悪い<br>・出ない<br>(焼き付きを起こす) | オイルタンク内にチェンオイルが少ない | チェンオイルを入れてください。 |
| | チェンオイル吐出口が詰まっている | 掃除してください。 |



メ　モ